

マリワールド海の中道 グランドオープン

～ 4月12日(水)、第2幕『九州の海』が始まります～

- マリワールド海の中道は、全館リニューアル工事のため休館いたしておりますが、4月12日(水)にグランドオープンいたします。
- 新しいマリワールドは『いつも新しい私になれる水族館』をコンセプトに、①展示の進化、②空間演出の強化、③施設の快適性の向上により、海をより身近に感じられるリゾート施設へと生まれ変わります。
- ①展示の進化では、メインである魚類の展示において、テーマを従来の“対馬暖流”から“九州の海”へと変更して、ほぼ全ての水槽を新設・改修します。生物とその生息環境を再現し、かつ、リラックス作用のある「ゆらぎ」をより感じられる最新の展示となります。また、イルカ・アシカ等の獣類の展示において、ショープールのステージを改修してより臨場感や開放感を向上させるほか、かいじゅうアイランドに「ペンギンの丘」を新設するなど魅力向上を図ります。さらに、新たな情報発信ゾーンとして、阿蘇山間部の湧水地を再現した「阿蘇 水の森」と、館内展示の理解を深めて九州各地の実際の自然へと誘う「情報ひろば うみのたね」を配置します。
- ②空間演出の強化では、全館にわたりアーバンリゾート感溢れるナチュラルなデザインとしました。特に、エントランスフロア2階の中央部には今回のリニューアルのシンボルとなる空間「滝と緑のセンターガーデン」を設けます。また、水槽観覧通路は、水槽がより際立ちあたかも海の中を散歩しているような雰囲気をお楽しみいただけます。
- ③施設の快適性の向上では、レストランや各種ショップを全面リニューアルするほか、トイレの改修やパウダールームの新設、メインエレベーターの大型化や多言語への対応など、あらゆるお客さまが便利で快適にお過ごしいただける施設を目指します。
- 以上のほかにも、長い年月にわたる運営経験を生かした使い勝手の向上やお客さまのご意見・ご要望の反映など、付加価値を随所に盛り込んだリニューアルです。新設ではなくリニューアルだからこそできる、いわば「リノベーション」にご期待ください。
- マリワールドでは、今後も福岡県内唯一の水族館として、地域のみなさまはもちろん、観光のお客さまにも足を運んでいただける、魅力ある施設運営を推進してまいります。

■「マリワールド海の中道」 グランドオープンの概要

【オープン日】 平成29年4月12日(水) 9時30分 オープン

【 ロ ゴ 】 マリワールドの建物正面の外観をモチーフとしたデザインです。



①展示の進化

○魚類展示の刷新

展示テーマを従来の“対馬暖流”から“九州の海”に変更し、ほぼ全ての水槽を新設・改修して、九州各地の多様な海の海洋生態を表現した水槽を展示します。水槽の形状、水や光の動き、映像や音響などに工夫を凝らした最新の展示となり、展示生物とその生息環境をよりリアルに再現するとともに、リラックス作用をもたらす「ゆらぎ」を感じていただけます。

1. 九州の近海（3階）

九州は、沿岸の地形が変化に富み、そこに海流の影響が加わることで、様々な特徴を持った海が各地に存在します。各県を代表する海、生物を紹介することで、九州の多様な自然を感じていただけます。

水槽名	概要・みどころ（展示生物例）	
【福岡】 玄界灘水槽	荒波が打ちつける中、流れにもまれる小魚と、底に居座る屈強な大型魚で生物のたくましさを感じていただけます。 今回のリニューアルのシンボルとなる水槽です。	<ul style="list-style-type: none"> クエ スズメダイ
【福岡】 博多湾水槽	海草が繁茂し稚魚の育成場となる美しい浅瀬の様子を再現し、環境の多様性を感じていただけます。	<ul style="list-style-type: none"> アマモ(海草) アミメハギ 稚魚
【鹿児島】 錦江湾水槽	火山活動で作られた暗く急峻な地形を再現し、赤く美しいアカオビハナダイの群れが暗闇の中に浮かびあがる様子をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> アカオビハナダイ ムチカラマツ トサカ類
【長崎】 西海水槽	西海橋が架かる針尾瀬戸をモチーフに、潮流、渦潮を再現し、たくましく生きる魚のアクティブな姿をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> マダイ マアジ メジナ
【宮崎】 宮崎海岸水槽	遠浅の砂浜に作られる美しい砂紋とキラキラと降り注ぐ太陽光の揺らぎを再現し、砂浜に生息する生き物をご紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> オオニベ ヒイラギ ホウボウ
【佐賀】 有明海水槽	干満差が日本で最も大きく、その中で独自の進化を遂げた固有種も多い有明海の、特徴的な生態をご紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> ムツゴロウ ワラスボ トビハゼ
【佐賀】 佐賀イカ水槽	九州を代表する水産ブランドで、九州の豊富な水産資源、食文化を知る機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> アオリイカ ケンサキイカ
【大分】 大分豊後水道水槽	大分・愛媛間の豊後水道の一部で、回遊魚が定住し、ブランド化もされている魚をご紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> マサバ カタクチイワシ
【福岡】 福岡魚礁水槽	福岡近海でも行われている、つくり育てる漁業として魚礁を展示し、漁業の持続可能性をご紹介します。	<ul style="list-style-type: none"> マダイ キジハタ アカアマダイ
【九州】 ウミガメ水槽	南九州が一大産卵地であるアカウミガメをはじめ、九州近海に生息するウミガメを展示します。	<ul style="list-style-type: none"> アカウミガメ アオウミガメ タイマイ

玄界灘水槽（イメージ）



2. 九州の外洋 外洋大水槽（1階）

九州の外洋に浮かぶ離島の海を、変幻自在な小魚の群れと回遊魚のスピード、大型のサメ・シロワニの存在感などでダイナミックに再現し、大型水槽ならではの迫力を感じていただきます。
当館最大で、既に完成度の高い水槽ですが、2万匹のイワシと15種・50点のサメなど60種・2万匹超の魚類が織りなす「群れとスピード」を進化させるとともに、照明の見直し、底面の形状変更、擬岩の更新や壁面の再塗装などにより奥行き感を増し、さらにダイナミックな水槽となります。



3. 九州の深海（1 階）

従来水槽での展示となりますが、展示する生物は九州の深海生物に変更します。

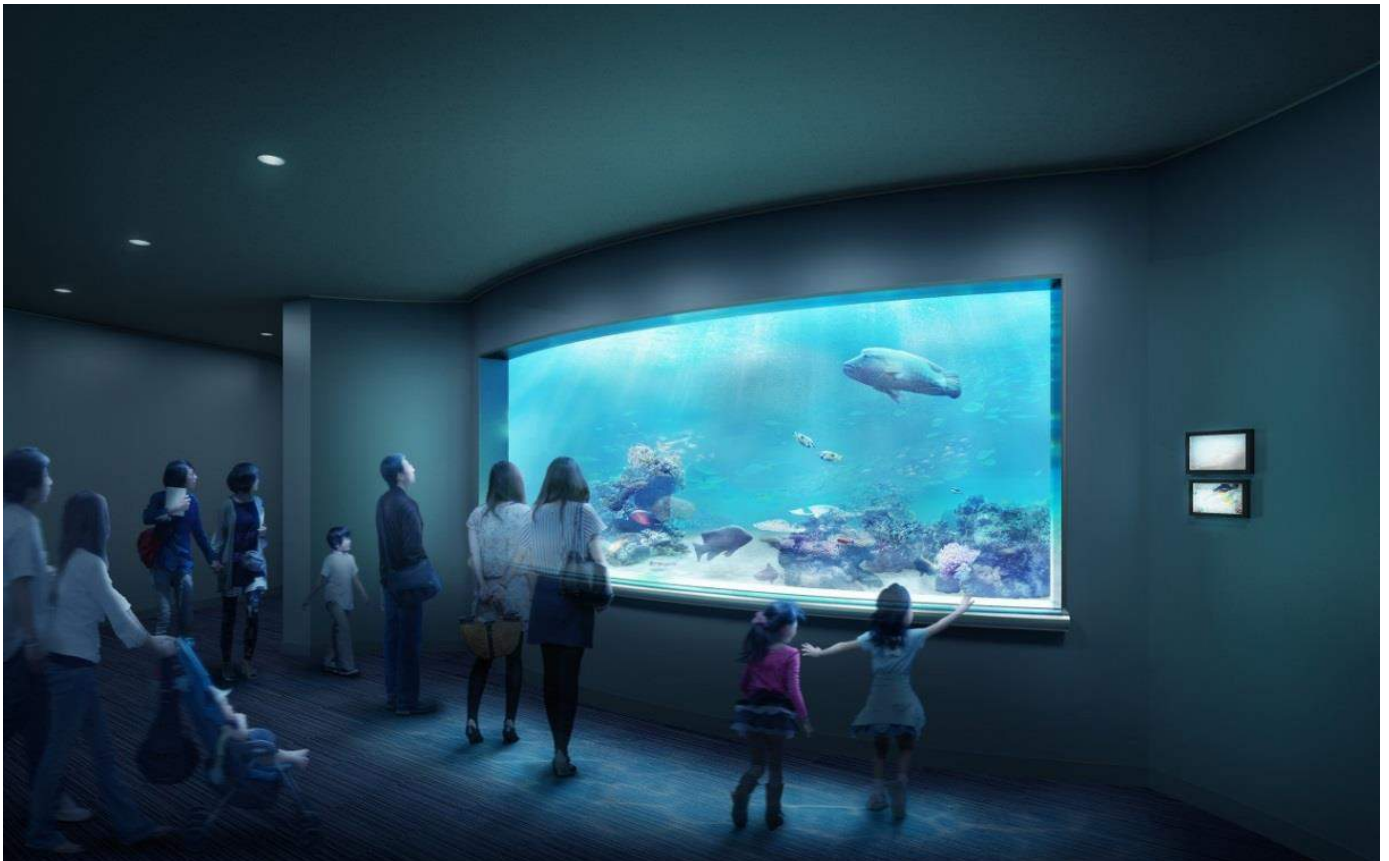
4. 九州のクラゲ（2 階）

各水槽を従来よりも大型化し、クラゲの透明感、浮遊感に加え、光と映像と音の演出により、幻想的な癒しの展示ゾーンとなります。

5. 奄美のサンゴ礁（2 階）

奄美群島の美しいサンゴ礁の景観を大小 15 基の水槽で再現します。展示の最終章にふさわしい、自然環境保護への関心を促すためのメッセージ性のある展示を目指します。

奄美のオアシス水槽（イメージ）



○獣類展示の魅力向上

下記のほか、福岡の身近なイルカであるスナメリのプール拡張など、獣類展示の魅力向上を図ります。

1. ショープールの改修

観覧席側にアシカのステージを新設し、アシカの愛嬌をより身近に感じていただきます。また、バックボードを撤去して博多湾を借景としたロケーションを最大限活かします。博多湾を臨みながら、お客様も一体となって盛り上がる、日本一元気になるショーを目指します。



2. 「ペンギンの丘」の新設（かいじゅうアイランド内）

かいじゅうアイランドエリアに新たに「ペンギンの丘」を設けます。イルカ、アザラシ、アシカに加え、愛くるしい姿のペンギンが陸上・水中で暮らす様子を間近でご覧いただけます。



○情報発信ゾーンの創出

自然保護について、楽しみながら考えるきっかけづくりをする2つの情報発信ゾーンを創出します。

1. 阿蘇 水の森 (3階)

阿蘇地方に多い湧水池の「緑に囲まれた木漏れ日の中、清らかな水が静かに湧き、水草や藻が繁茂する景観」を再現し、癒しの場を提供します。大地に降り注いだ雨はやがて湧水となり、森や里地を潤すだけでなく、川となって山から海へと栄養分を運び、海を育むことから、自然は有機的につながっていることを感じていただけるゾーンを目指します。



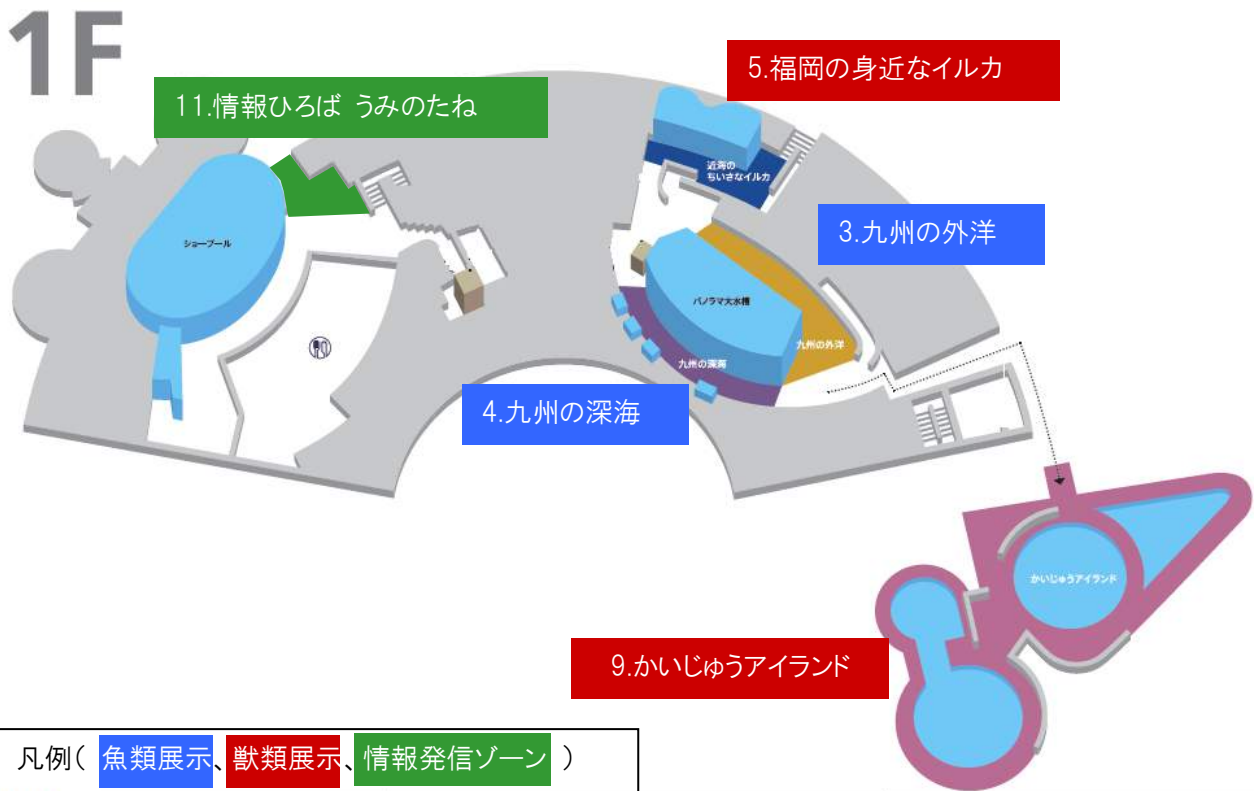
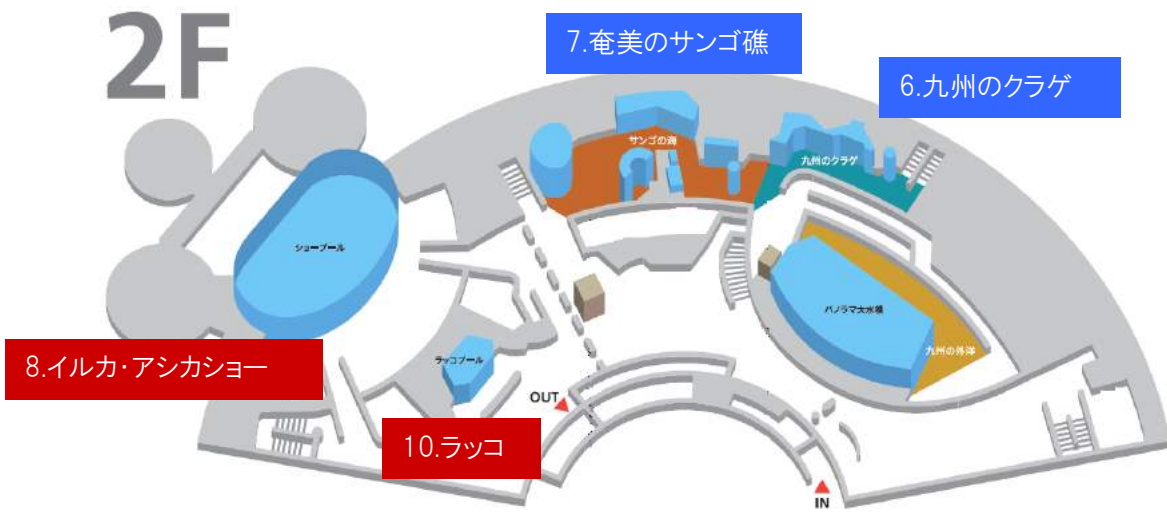
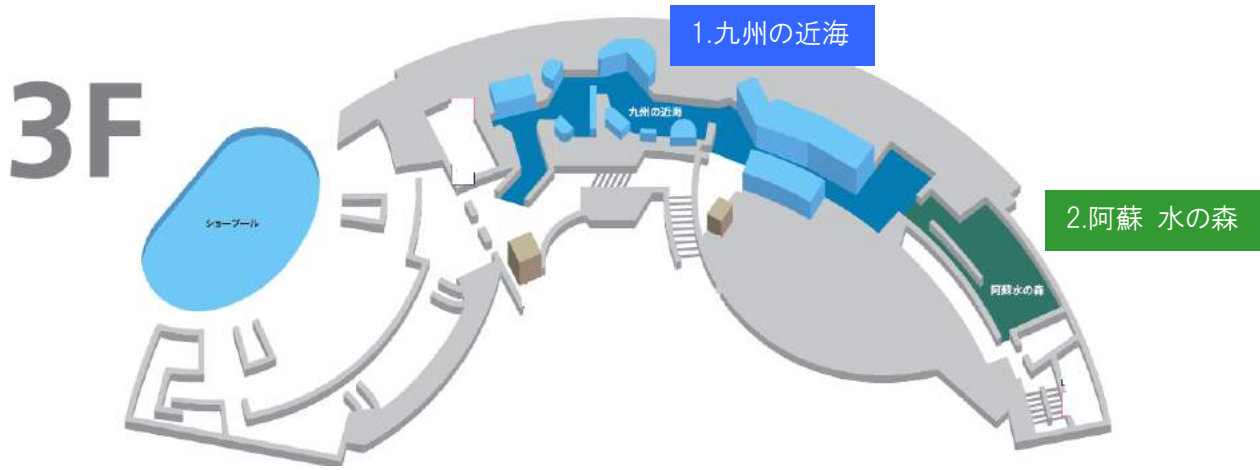
2. 情報ひろば うみのたね (1階)

館内展示や自然環境についての理解を深めるための情報発信ゾーンです。

館内展示を深掘した情報や九州各地の自然についての情報を提供し、お客様を自然観察会など現地フィールドへと誘い、展示を通して抱いた九州の自然への興味や関心、理解を、自然保護のための実際の行動に移すきっかけづくりを目指します。自然観察会は、当館が主催するもののほか、各地で活動する団体とも連携して開催いたします。また、ボランティア活動などの生涯学習機能も発揮していきます。



○展示ゾーンレイアウト



凡例(魚類展示、 獣類展示、 情報発信ゾーン)

②空間演出の強化

リニューアルコンセプト「いつも新しい私になれる水族館」のもと、都会的で洗練されたリゾート感があり、より自然を感じられる空間づくりを行います。下記をはじめ、全館にわたって空間演出の強化を図ります。

1. 滝と緑のセンターガーデン

入館直後にお客さまをお招きする「滝と緑のセンターガーデン」は、今回のリニューアルのシンボルとなる空間です。

建物の改造により、高さ約 15m（ビル 5 階建相当）の吹抜け空間を創出、白い膜屋根を通して差し込む柔らかな自然光と、効果的に配置された水と緑などにより、リゾート感溢れる空間となります。



2. 水槽観覧通路

水槽観覧通路は、壁・床・天井を黒基調の暗色仕上げとすることで水槽を浮かび上がらせ、まるで海中を散歩しているような雰囲気醸し出します。これは同時に、展示されている生物にとっては、人間が見えなくなることによるストレス軽減効果もあります。

変更前



変更後



③施設の快適性の向上

お食事やお土産物などのサービス機能の強化に加え、トイレやパウダールームなどの充実、バリアフリーや多言語表示の推進など、お客さまの利便性や快適性を向上させます。

1. レストラン 『restaurant Reilly』

1階レストランを全面リニューアルします。店名のReilly（レイリー）は、レイリー散乱（空や海が青く見える原理）に由来するもので、目の前に広がるイルカ・ショープールの水中の青い世界を楽しみながら、食事や喫茶をお楽しみいただけます。



2. 各種ショップ

2 階スーベニアショップと 3 階ショーパールの軽食スタンドを全面リニューアルいたします。また、滝と緑のセンターガーデン内にドリンクスタンドを新設します。



3. トイレ、授乳室の改修、パウダールームの新設

トイレ、授乳室をより使い勝手のいい設備へと改修いたします。特に 2 階中央トイレは女性用に特化した最新のものとし、また、これに隣接して独立のパウダールームを新設します。



4. メインエレベーターの大型化

車椅子 2 台の同時搭乗（従来は 1 台）が出来るサイズにエレベーターケージを大型化します。

5. 多言語への対応

案内サイン、パンフレットおよび音声ガイドは、原則として日本語・英語・中国語・韓国語の 4 ヶ国語に対応いたします。また、ピクトグラムを効果的に活用します。